**第230号紙面案内**

第2面～第3面・・・理事会報告

第4面・・・関西部会開催のご案内

第5面・・・山城賞募集のご案内

第6面・・・韓国経営教育学会との交流

第50回全国研究大会を終えて

大会実行委員長 篠原 淳（九州国際大学）

日本経営教育学会第50回全国研究大会は、平成16年10月8日（金）～10日（日）にわたって開催され、お陰様で無事終了することができました。ご協力いただいた先生方およびご参加いただきました会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

開催校をお引き受けさせていただいた当初は、本当に実施まで漕ぎ着けることができるかどうか不安でしたが、会長の飢富先生や大会委員長の佐久間先生をはじめ、多くの先生方の暖かいご配慮とご協力をいただき、また九州部会の先生方の全面的なバックアップにより何とか大会実行委員長としての役割を全うできましたことに深く感謝申し上げます。

今大会は、アジアとの交流の盛んな福岡を舞台として『『アジアの時代』に生きる経営教育』というテーマで実施いたしました。統一論題報告では4つのテーマでご報告をいただき、また自由論題においても非常に興味深いテーマのご報告にご参加いただいた先生方からも様々なご意見をいただくことができました。さらに特別講演の安川電機中山真会長には、実践の中で培われた経営教育のエキスがたっぷりと詰まったお話を聞かせていただくことができました。

台風の影響を心配しながらの開催でしたが、実際には地方大会としては盛況といえる150名を超える会員の参加をいただき、また懇親会についても100名を超える会員の参加があり、大変有意義なものとなりました。

今回は、韓国より韓国経営教育学会との交流も加わり、今後の両学会の研究交流もさらに深まっていくものと期待されます。

最後に、日本経営教育学会のさらなる発展を祈りつつ、大会終了の報告とさせていただきます。

理事会報告

●常任理事会報告（平成16年8月28日開催）

平成16年8月28日（土）、東洋大学（文京区白山）甫水会館にて、平成16年度第2回常任理事会が開催された。

(1)第50回全国研究大会の件

大会の準備に関する報告がなされ、理事会の前に大会委員会および各種委員会を開催することが確認された。

(2)第51回全国研究大会の件

第51回全国研究大会について、明治大学または和光大学で開催する準備を進めていくことが確認された。

(3)第7回産学交流シンポジウムの件

第7回産学交流シンポジウムは、「変革・教育・人材」をテーマに、3回シリーズで開催されることが報告された。第1回目は、平成16年11月18日（木）に、「【その1】～プロフェッショナル、源流の探求と人材の教育～」をテーマとして、企業経営通信学院（千代田区有楽町）で開催されることの説明がなされた。

(4)会員入退会の件

新入会員および退会会員についての報告があり、承認された。承認後、個人会員838名、法人会員14社となった（平成16年8月28日現在）。

(5)その他

①韓国経営教育学会との交流について

佐久間信夫組織委員長より、韓国経営教育学会から本学会へ交流の申込みがあったことが報告され、学会の沿革、概要、組織等についての説明があった。そして、交流に向けて、前向き、かつ慎重に検討を続けることが確認された。

②創立25周年記念行事について

学会創立25周年記念行事の準備の状況が報告された。

●理事会報告（平成16年10月8日開催）

平成16年10月8日（金）、九州国際大学において平成16年度第3回理事会が開催された。

(1)第51回全国研究大会について

第51回全国研究大会は平成17年6月3日～5日に明治大学にて開催される予定であることが報告され、承認された。また、小笠原大会実行委員長のご挨拶があった。

(2)産学交流シンポジウムについて

第7回産学交流シンポジウム（「変革・教育・人材～プロフェッショナル、源流の探求と人材の教育～」）が来る11月18日（木）13時20分より、企業経営通信学院有楽町電気ビル南館3階にて開催されることが報告され、テーマ等について説明があった。

(2)

(3)機関誌編集委員会について

機関誌の編集状況について、機関誌編集委員会委員長より、説明と報告があった。

(4)山城賞選考委員会について

山城賞の選考について、選考委員会委員長より、選考のスケジュールおよび手続きについて説明と報告があった。

(5)国際委員会について

国際委員会の活動について、アメリカ経営学会経営教育部会との第3回目のスピーカーエクスチェンジプログラムが6月関東部会において実行され、成功裡に終わったことが報告されるとともに、来年度のプログラムの実施計画について説明があった。

(6)会員入退会について

会員の入退会について、新入会員と退会会員について報告があり、承認された。本理事会承認分を合わせて、個人会員総数848名、法人会員10社となった（平成16年10月8日現在）。

(7)その他

- ① 韓国経営教育学会から要望のあった学術交流について、覚え書きの交換が提案された。交流を進めること自体については特に異論がなかったが、交流の具体的な内容についてはもう少し時間をかけ、慎重に検討するべきであるという意見があった。そこで10月9日（土）に韓国経営教育学会の会長らが大会会場を訪れる際には、交流を進めるという基本的方針を確認する調印にとどめるのが妥当であろうという結論に達した。
- ② 学会創立25周年記念事業である『経営教育事典』の編集について、その基本方針と現状について説明と報告があった。

『経営教育事典』の編集作業について

25周年記念事業委員会委員長 齊藤毅憲（横浜市立大学）

編集委員の意見集約の作業を行ってきましたが、大体以下のようなものとして編集することになりました。会員各位のご協力をお願いします。

- ①300頁の大きさの「事典」（解題的な論説と用語1,500語以内）にする。
- ②出版は学文社に依頼する。できるだけ多くの会員に執筆してもらうようにする。
- ③経営教育に関する事典にしたいという意見が多数の編集委員のものであるが、経営学の実践性や日本的経営・国際的経営の研究という本学会の目的も構想に盛りこむようにすべきと考えている。
- ④具体的な構想を練り、用語の選択を行うための中堅・若手によるワーキング・グループを委員長のもとに編成し、作業を急ぎたい。

作業に積極的にコミットしたい会員は、委員長までご連絡ください。

関西部会開催のご案内

関西部会長 王耀鐘（関西大学）

本年度第2回の部会を下記の要領で開催いたします。なお、報告会の終了後には、例年通り忘年会も予定されておりますので、万事お繰り合わせの上、多数ご出席くださるようお願い申し上げます。

<報告会>

日 程：平成16年12月11日（土）13：30～

場 所：大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）

〒540-0008 大阪府中央区大手前1丁目3番49号 TEL：06-6910-8500

JR 東西線大阪城北詰駅2号出入口から西へ550m

京阪天満橋駅・地下鉄谷町線天満橋駅：1番出口から東350m

◇第1報告：メタファーから見たコンプライアンス ～アンケートを通しての考察～

報告者：三宅芳夫氏（大阪府立大学大学院経済学研究院生）

◇第2報告：これからの人材育成のあり方 ～企業の持続的成長のためにキャリア形成支援を～

報告者：古川 浩氏（京都能力開発協会人材育成コンサルタント）

<忘年会>

日 程：平成16年12月11日（土）17：00～

場 所：東天紅 OMM ビル店（予定）

谷町線天満橋駅1番出口すぐ・京阪天満橋駅東出口徒歩1分

TEL：06-6944-1015

※出席のご連絡は以下のいずれかをお願いいたします。

・部会幹事：松本大輔（京都産業大学大学院）携帯：080-3101-9464

E-mail：chandai@cc.kyoto-su.ac.jp

・部会長：王耀鐘（オウ ヨウショウ）（関西大学）E-mail：oh@kansai-u.ac.jp

◇詳細は別途ご案内を申し上げます。

中部部会報告者の募集

中部部会長 櫻井克彦（中京大学）

第31回中部部会は平成17年3月5日（土）、愛知産業大学名古屋サテライトで開催いたします。報告を希望される方は、〒444-0005愛知県岡崎市岡町原山12-5 愛知産業大学経営学部 堀田友三郎（hotta@asu.ac.jp, TEL：0564-48-4511, FAX：0564-48-7756）までお知らせください。

山城賞募集のご案内

山城賞審査委員会委員長 富田忠義（獨協大学）

日本経営教育学会山城賞を下記要領にて募集いたします。奮ってご応募ください。

- 応募方法：自薦・他薦いずれも可
- 審査対象：平成15年10月1日～平成16年9月30日の1年間に刊行された著書。
本学会員による単著で、日本語で書かれたもの。
- 提出すべきもの
 - ◇自薦の場合
 - ・著書3冊
 - ・内容要旨（A4サイズで1,200字程度のもの）
 - ◇他薦の場合
 - ・内容要旨（A4サイズで1,200字程度のもの）
 - ・推薦書（A4サイズで、以下の6項目を記したもの）
 - ① 推薦者氏名
 - ② 推薦者所属機関
 - ③ 推薦者の連絡先（郵便番号、住所、電話・FAX番号、E-mailアドレス）
 - ④ 書名および著者名
 - ⑤ 出版社および発行年月日
 - ⑥ 推薦理由（1,200字程度）
- 応募締切：平成16年12月10日（金）必着
上記提出物を期限までに学会事務局まで郵送してください。
封筒には「山城賞審査資料在中」と朱書きしてください。
- 審査基準：本学会設立の趣旨である以下の3点によって審査いたします。
 - ① 経営体の諸活動に関する実践的研究
 - ② 日本的経営および国際経営の研究
 - ③ 経営者・管理者の実践能力を育成するための経営教育の研究（以上、日本経営教育学会山城賞規程による）

※審査対象要件などの詳細は下記にお問い合わせください。

○お問い合わせ先

日本経営教育学会事務局* TEL：03-5282-3920 FAX：03-5282-3452
E-Mail：name@yutori.or.jp
山城賞審査委員長 富田忠義 TEL・FAX：048-922-4558
E-Mail：tomita-h@cg8.so-net.ne.jp

※事務局移転の際には、電話番号・FAX番号が変更になりますのでご注意ください。

韓国経営教育学会との交流

総務委員長 松本芳男（日本大学）

日本経営教育学会第50回全国研究大会（於：九州国際大学）の期間中、韓国経営教育学会会長李 鍾浩公州大学校教授、同前会長朴 大圭、梁 在英柳韓大学教授らが会場を訪れ、両学会の学術交流について話し合いがもたれた。互惠・平等の原則に基づき、学術・教育・文化の面で交流を促進することに合意し、覚え書きが交換されたが、交流の具体的な内容については、今後、双方の話し合いの中で検討することとなった。



韓国経営教育学会は、会員数が900名を超える学会で、機関誌も年4回発行しており、この機関誌に、日本経営教育学会会員の論文を掲載することが韓国側から提案された。また、来年2月には中国の学会との国際シンポジウムも開催の予定であり、日本からの参加も期待しているとのことである。これらの点については、今後、国際委員会、組織委員会、機関誌編集委員会などで検討の上、対応することとした。

第50回全国研究大会工場見学記

新日本製鉄の見学感想

周学業（九州産業大学大学院博士後期課程）

高炉、鉄流、熱気・・・

新日鉄八幡製鉄所の構内に入ったら、新鮮な、活力に溢れた雰囲気を見せてきた。

軌条、電磁鋼板、巨大な市場シェア・・・、製鉄所の係員が誇りらしげに紹介している姿を眺めながら、「不況」「低迷」「不振」などの言葉が別世界のここのように消えてしまう。鉄は「文明社会を支えてきた」、鉄は人間の心を支えていく。

原料購入から圧延へと、処理加工までのすべてが有用なシステムの一部となり、生産過程、R & Dに周到な技術準備がなされて、それぞれに見える成果ができています。

内の空に縦横に敷設されているパイプはところどころ錆びている。しかし、なんだか、パイプたちが人類に貢献をしたがっているような感じさえする。

統一論題の最後で井上・辻村両先生が交わされた「学」と「論」に関する論争を楽しみながらも、なぜか頭の中で、それらのパイプたちを思い出した。

鉄は硬く、冷たい。だが、人に臨場感と安定感を与えてくれる。また鉄の誕生には熱狂と情熱を伴っている熱さがある。それは、人間に希望や想像をもたらしてくれる。鉄は虚妄な高論をしない。鉄は近視眼的な心とは離れたものである。

しかし、私は鉄にはなれないが、熱い半日を用意してくださった関係の方々から心から感謝したい。

第50回全国研究大会参加記

全国研究大会に参加して

徐 陽（九州大学大学院）

第50回全国研究大会（九州国際大学）は、北九州市での開催、台風22号の接近と連日の雨で、足元が悪いという環境にもかかわらず、約150名近くの参加者がありました。

本大会は「『アジアの時代』に生きる経営教育」を統一テーマとして開催されました。第50回という節目の大会でしたので、各先生方は最後まで参加され、大盛況の内に幕を閉じました。

自由論題報告は、それぞれ興味深い研究報告であり、出席者からも活発な意見や質問が提起され、大変有益な示唆を受けました。また、特別講演は安川電機会長中山真様が「アジアにおける事業展開と人材教育」をテーマに講演なされました。安川電機の経験を踏まえた上でのグローバルな人材育成の問題に関して、アジアの特殊性を指摘しつつ、今後のアジアの発展・共生のためにこれからすべき努力などのご意見を拝聴させていただきました。

統一論題報告では、池野健一先生の「留学ビジネスと経営者の育成」、増田辰弘先生の「中国における日系企業の労務管理の特質」、井之川儀明先生の「技術事業経営を推進できる幹部候補者の育成」、井上善海先生の「わが国ベンチャー経営教育のアジアへの移転可能性」の各報告がなされました。それぞれにおいて経営に関する人的及び物的問題意識に基づいて鋭い問題提議がなされ、白熱した議論がたたかわされ、非常に興味深く拝聴させていただきました。

さらに、本大会の懇親会においては、韓国の経営教育学会から3名の先生方が参加され、相互支援協定に調印がなされました。これはまさに「『アジアの時代』に生きる経営教育」の大きな一歩となるでしょう。

このような稔り多い充実した大会に参加させて頂けたことに感謝するとともに、開催にあたりご準備くださった関係の方々から心より御礼を申し上げます。

緊急告知

第3回関東部会のご案内

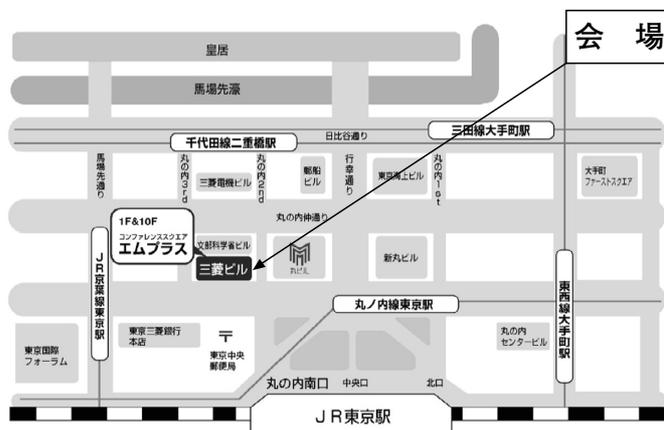
関東部会長 亀川雅人 (立教大学)

- 開催日時：平成16年11月13日（土）14：00～17：30（受付：13：30～）
- 会場：立教大学池袋キャンパス 12号館地下1階会議室（池袋駅西口徒歩10分）
- 参加費：¥1,000（部会参加費のみ）
- ◇ 第1報告 14：00～14：55
 テーマ：1990年代後半以降の国際資本移動におけるアメリカの役割
 報告者：徳永潤二氏（和光大学）
- ◇ 第2報告 15：00～15：55
 テーマ：多メディア多チャンネル時代における放送ソフト制作会社の自立的発展に関する考察
 報告者：島田浩志氏（金融情報ネットワーク運営協会事務局長）
- ◇ シンポジウム 16：00～17：30
 テーマ：社会人教育：日本のMBA 教育のあり方について
 司会：亀川雅人氏（立教大学）

※部会終了後、近隣の店舗にて懇親会を予定しています。

産学交流シンポジウム会場変更のご案内

11月18日（木）開催の第7回産学交流シンポジウムの会場が変更となりましたので、ご注意ください。詳細は学会ホームページでもご案内しています。



住所：東京都千代田区丸の内
2-5-2 三菱ビル10F

- JR
 東京駅丸の内南口 徒歩約3分
 京葉線10番出口 直結
- 地下鉄
 千代田線
 二重橋前駅4番出口 徒歩約2分
 丸ノ内線
 東京駅地下道経由 徒歩約3分
 都営三田線
 大手町駅D1出口 徒歩約4分
 東西線
 大手町駅B1出口 徒歩約6分

編集後記

会報第230号をお届けします。大雨や台風、震災など自然の猛威を再確認させられた秋となりました。会報へのご意見・ご感想もどうぞお寄せください。青淵正幸・加藤賢次郎